

ジュエリー通信 124号 平成30年8月



●宝石コミック「七つ屋しのぶの宝石匣」

●人工ダイヤの見分け方

こんにちは。ジュエリー通信編集長の井原一成です。今年の夏は暑いですね！今は8月になろうとしています。7月中旬の40度にもなるという暑さは堪りませんでしたね！それを思うと今は暑いけど涼しく感じてしまいます（笑）昼間はお店なのでエアコンをつけていますが、寝るときはエアコンなしで扇風機でガムバッテリーマス！アホです！そんな調子で今月もがんばりま〜す！！

●宝石コミック「七つ屋しのぶの宝石匣」

こんにちは。ジュエリー通信編集長の井原一成です。私は紙に書かれた活字を読むのが好きで1日30分から1時間は読みます。店でヒマになるとインターネット書店で本を探します。本はある程度裏づけのある確かな情報源として興味ある本はとりあえず積ん読します。インターネットの情報も参考にはしますが、年々信憑性は薄れていってるのではないかと感じています。



「ジュエリー」とか「宝石」とかいう言葉で本を探します。宝石屋さんという商売も年々絶滅危惧種になるつつあるのか質のよい書物がすくなっています。1990年代に出版されたジュエリー関係の専門書が宝物のように思い古本などもあればなるべく手に入れています。先日引っこかってきた本が「七つ屋しのぶの宝石匣」という本で二ノ宮知子という人が書いた本で、そう、ご存知「のだめカンタービレ」の著者です。物語というのは人の営みを描くもの。その営みを戦国武将を通して見るのか、宝石屋さんを通して見るのかの違いはありますけど優れたストーリーテラーは何を書いても面白い！私もこの道30年！？どの業界でもそうでしょうけど業界にはいろんな人がいます。



● 宝石コミック「七つ屋しのぶの宝石匣」

アカデミックな色石鑑別やさんのファミリーストアの若旦那。気むつかしい石留めやさんのまるでお役所のようなダイヤ鑑定人。遊び人のようなルビー屋さんのブランドショップの店員さんの真剣勝負の質屋さん。会えば2時間一方的に話して離さない^{だん}金職人のこんな人いるねーと読んでいてとっても面白く人々の織り成す人間模様が業界の裏事情なども面白おかしく描かれています。

このマンガの第一巻第一話でいきなり「人工ダイヤモンド」の話から始まります。
なぜ人工ダイヤモンドなのか^{天然}ダイヤモンドは価値があり極めて珍しいものですが、^{たんそ}炭素というごくありふれた材料でできています。人の体も18%は炭素からできているといわれています。炭素に「高い圧力と高い温度と長い時間」(1000度以上数万気圧数百万年)がかかればダイヤモンドになるといわれています。現在の科学技術で人工ダイヤモンドを作ることはできるそうです。私は人が宝石を見て美しいと思うのは不完全だから美しく見えるんじゃないかと思ってるんです。自然の風景を見て美しいな、きれいなと思うのは不完全やからやと思うのです。「宝石は完璧を求めろのだけど、完璧ではないから美しい。」完璧に美しい宝石もあるんですけど、自然が作り出したものだから美しく見えるのでしょうか。人が作り出す^{模倣}芸術も大自然の模倣です。人の手が作り出した美しい宝石はなんか「いやらしい」「なんか不自然」と仕事で日々感じているそんな矛盾を「さらり」と「的を得て」描いている。そんな面白いマンガです。宝石関係の本ってあまり売れないと思いますので、気になったら早めに読んでくださいね。



また飲んでしまった…
アウマカンパニ-6
うまからえ。

●人工ダイヤの見分け方

こんには。じゅえりー通信編集長の井原一成です。

「人工ダイヤの見分け方」などと大それたことを書いてますが、テーマを決めてから後悔しました。なかなか専門的過ぎてむつかしい。ほんまに難しい。

先ほども書きましたが、ダイヤモンドをつくるには炭素に「高

い圧力と高い温度と長い時間」(1000度以上、数万気圧、数百万年~数億年)がかかるとダイヤモンドが出来ると。人工ダイヤを現在の技術で透明なものを作ることは可能ですが、それを見破ることも可能なのです。時間が決め手となります。

人工ダイヤが見破れなかったらえらいことになりますね。だって炭からダイヤモンドが出来ると。すから、おれが紙くずになるくらいインパクトがありますね。

現在、主な合成ダイヤモンドの作り方は、CVDダイヤモンドといわれ、1000℃を超える環境下で水素ガスとメタンガスをプラズマ化させ、種結晶の上にダイヤモンドを成長させる方法で日

本語では「化学蒸着法」といいます。はっきりいってエラソーに書いてますがぜんぜんよくわかりません。

●人工ダイヤの見分け方

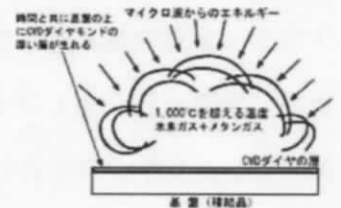
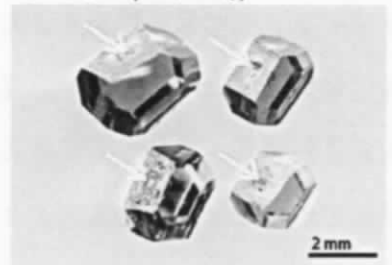
これで出来た合成ダイヤモンドをCVD合成ダイヤモンドといいます。2,3日で出来るのですが、長く高温高压状態を維持すると電気代がかかってしょうがないので、早く成長させるために窒素を入れると、早く出来るが茶色くなります。茶色いままだと誰も買いませんので茶色いCVD

ダイヤモンドを高温高压処理すると無色になるそうです。

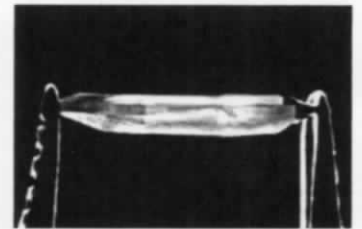
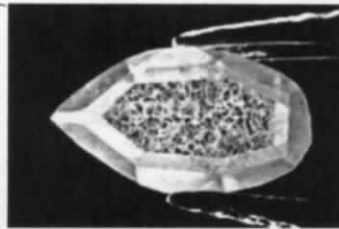
で、そしたらCVDダイヤモンドに高温高压処理(HTHPプロセス)して無色透

明なダイヤモンドを作って売ったらめっちゃ儲かるや〜んと思いますけど、見分け方があるのでそれはちょっと無理です。

人工ダイヤの結晶



中央宝石研究所より。



●人工ダイヤモンドの見分け方

ひとくくりに「ダイヤモンド」といっても4種類あるのですが、ここでは2種としてI型、II型、天然のダイヤモンドは99%がI型なのです。見分け方も短波紫外線で光るものはII型。茶色いCVDダイヤモンドを色を抜くために高温高圧処理します。そうすると、色とともに窒素が抜けるのです。I型ダイヤモンドとII型ダイヤモンドの違いは、窒素の含有率なのです。無色でII型のダイヤモンドは合成ダイヤモンドの確率が非常に高いという人工ダイヤモンドの見分け方でした～

くわしくは、合成ダイヤモンド、中央宝石研究所のWebサイトでお勉強してください。

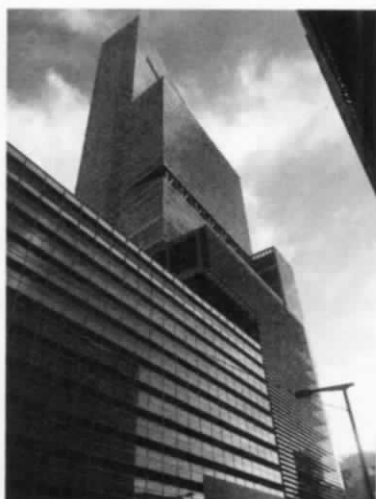
私はそこまで詳しくありません。

この9月にもモナビアスという会社が安い価格で人工ダイヤモンドを売り出すそうですがどんなダイヤモンドなのでしょうね！手に入れて観察してみたいです。



おのほろやん

はじめのハルナス



さる〜こ

